

## 不登校の子どもたちへの教育について

間もなく立春を迎えますのに、寒い日が続いております。平素は、聖母の小さな学校の教育にご理解、ご協力をいただき感謝しております。

聖母の小さな学校は、設立30年目を迎えます。相談生、通学生合わせると、250名余の生徒たちがここで学び、巣立ってゆきました。設立当初より一貫して ①不登校生徒の教育 ②保護者への支援 ③原籍校、教育委員会、又、他機関との連携 を三本柱としています。生徒たちは聖母の小さな学校へ登校する練習を通して、生活のリズムの乱れを正したり、教育によって、人の中に安心して居ることができるようになったり、集団生活のスキルを身に付けたりします。そして、学校という社会と自分との関係を（様々な練習を通して）再び作り上げてゆきます。その結果、多くの卒業生たちが社会の中で生き生きと活動し、社会を支えています。

又、保護者は、不登校になった我が子を目の前にして途方にくれます。どう理解すれば良いのか、どうすれば納得して我が子を受け止められるのか、「黙って話そうとしない我が子」「だんだん心を閉ざしてしまう我が子」にどう向き合えばいいのかわかりません。根本的なことが分からないまま、「とにかく学校に行かせよう」と行動します。そのことが、更なる混乱を引き起こしてしまいます。しかし、親としては行動せずにはられません。そういう中で「子どもの不登校の状況を定義」「今、何をなすべきか」をつかみ、ステップ感と少しずつ子どもと共に成長する方法を得てゆきたいものです。そのためにも文部科学省が言う所の「学校以外の場」である「適応指導教室」や、本校のような「フリースクール」で相談されることを勧めます。同じ不登校の子を持つ親の保護者会に参加することも大いに参考になるでしょう。

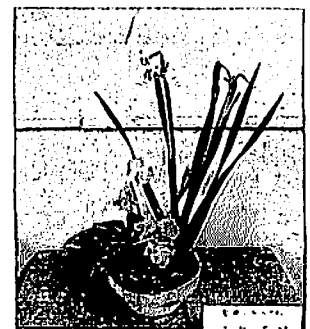
自分の育て方が悪かったから不登校になったのではありません。又、この子が悪いから不登校になったのでもありません。自分たちで何とかしようなどと考えないでください。広く社会の問題ととらえるべきです。教育の問題です。学校やフリースクール、保護者、子どもたち皆で力を合わせて、互いに支え合い、理解し合い、成長してゆくべきことです。安心して相談してください。

舞鶴市の「広報まいづる」2月号に、この事も含めて聖母の小さな学校の事が掲載されています。御一読くださるようお願いいたします。

今月もよろしくお願いいたします。



1/12 初詣（綾部）



1/19 茶道教室・生徒作品

### <今月の主な行事>

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 2日（金）華道教室      | 14日（水）陶芸教室          |
| 5日・19日（月）茶道教室  | 16日（金）月例保護者会 19:30～ |
| 6日・20日（火）中国語教室 | 17日（土）茶席体験（京都茶道会館）  |
| 8日（木）ギター教室     | 28日（水）調理実習          |